

ハウステンボス株式会社

☎0956-27-0354

安全方針

当社は旅客船運航者として社会的使命を全うする為に、
◆海上における人命の安全 ◆船舶の安全運行 ◆環境の保護 を基本方針と定め、
 法令順守と安全優先の原則徹底を全社一丸となって取り組んでおります。

安 全 に 係 る 情 報

船名及びトン数 旅客定員		カペラ他11隻 13トン・51人	マリエラ 563トン・250人	モササウルス 69トン・150人	あかしあ 19トン・64人
救命設備	救命胴衣大人用	52着	270着 巨軀用2着	16着	66着
	救命胴衣小人用	3着 幼児用 0着	36着 幼児用9着	0着 幼児用0着	6着 幼児用0着
	救命浮環	1個	4個	2個	2個
	救命浮器	名用 0個	22名用 6個	22名用 7個	22名用 3個
	膨張式救命いかだ	—	—	—	—
無線設備	携帯電話	業務用無線	ソフトバンク 通信圏内 エリアマップ別紙	au 通信圏内 エリアマップ別紙	au 通信圏内 エリアマップ別紙
	海上特種無線 VHF	—	有	—	—
	衛星電話	—	—	—	—
通信緊急手段	携帯電話	業務用無線	ソフトバンク 通信圏内 エリアマップ別紙	au 通信圏内 エリアマップ別紙	au 通信圏内 エリアマップ別紙
	海上特種無線 VHF	—	有	有	有
	衛星電話	—	—	—	—
船舶検査受検日		令和5年9月30日～令和6年9月30日	令和6年9月30日	令和6年9月30日	令和6年9月30日
保険	船客傷害賠償保険	1億円/1人		1億円/1人	
	契約期間	令和5年9月30日～令和6年9月30日	令和5年9月30日～令和6年9月30日		
航行海域	旅客定期航路	ハウステンボス運河遊覧航路		—	
	旅客不定期航路	運河～ハウステンボス港内		・大村湾遊覧 ・ハウステンボス～無人島	

◎安全性向上への取り組み

当社は、九州運輸局の許可を受けた一般旅客定期航路及び旅客不定期航路・人の輸送をする内航不定期航路事業を行っており、九州運輸局に届出た安全管理規定を遵守し、安全方針である海上における人命の安全・船舶の安全運航・環境の保護の取組を全社一丸となって取り組んでおります。

- 九州運輸局並びに旅客船協会主催の研修への参加はもとより、船舶の事故想定合同訓練及び安全教育を定期的実施しております。
- 定期検査を始め日々の発行前点検・終業点検を確実に実施し、小さな異常も報告し整備専門スタッフとも情報共有を図っております。
- 船長採用及び登用に関しては実務経験及び航路・海域・船舶の熟知度をはじめ、日々の安全に対する取組や他の船長からの意見も集約し、運航管理者の推薦で安全統括管理者及び経営トップが判断し、任命いたします。

◎船舶の運航を可と判断する理由

当社の旅客船運航に際しての条件及び対応は、安全管理規定（運航基準、作業基準、事故処理基準）で厳しく定めており、気象、海象の状況、今後の航路海域及び周辺海域、目的港の状況、予報等で、当該船長、運航管理者協議を行い運航中止基準値の場合や、運航中止基準値に達すると予想される場合及び、協議で運航判断に迷う場合は運航を中止します。

・気象海象による運航中止基準

港名	風速	波高	視程	備考
運河内	15m/s以上	0.3m以上	50m以下	運航中止基準値以下の場合、ハウステンボス港の立地条件を考慮し、南方の風9m/s、波高0.6m以上に達した場合は運航中止と致します。
大村湾	15m/s以上	1.0m以上	500m以下	
	m/s以上	m以上	m以下	
	m/s以上	m以上	m以下	
	m/s以上	m以上	m以下	
	m/s以上	m以上	m以下	

◎救命具の設置場所、使用方法 : 船内各所の掲示物でご確認ください。

◎緊急避難通路 : 船内各所の掲示物でご確認ください。